

4 トピック — 平成22年は、すべての年齢階級別で野菜摂取量が減少 —

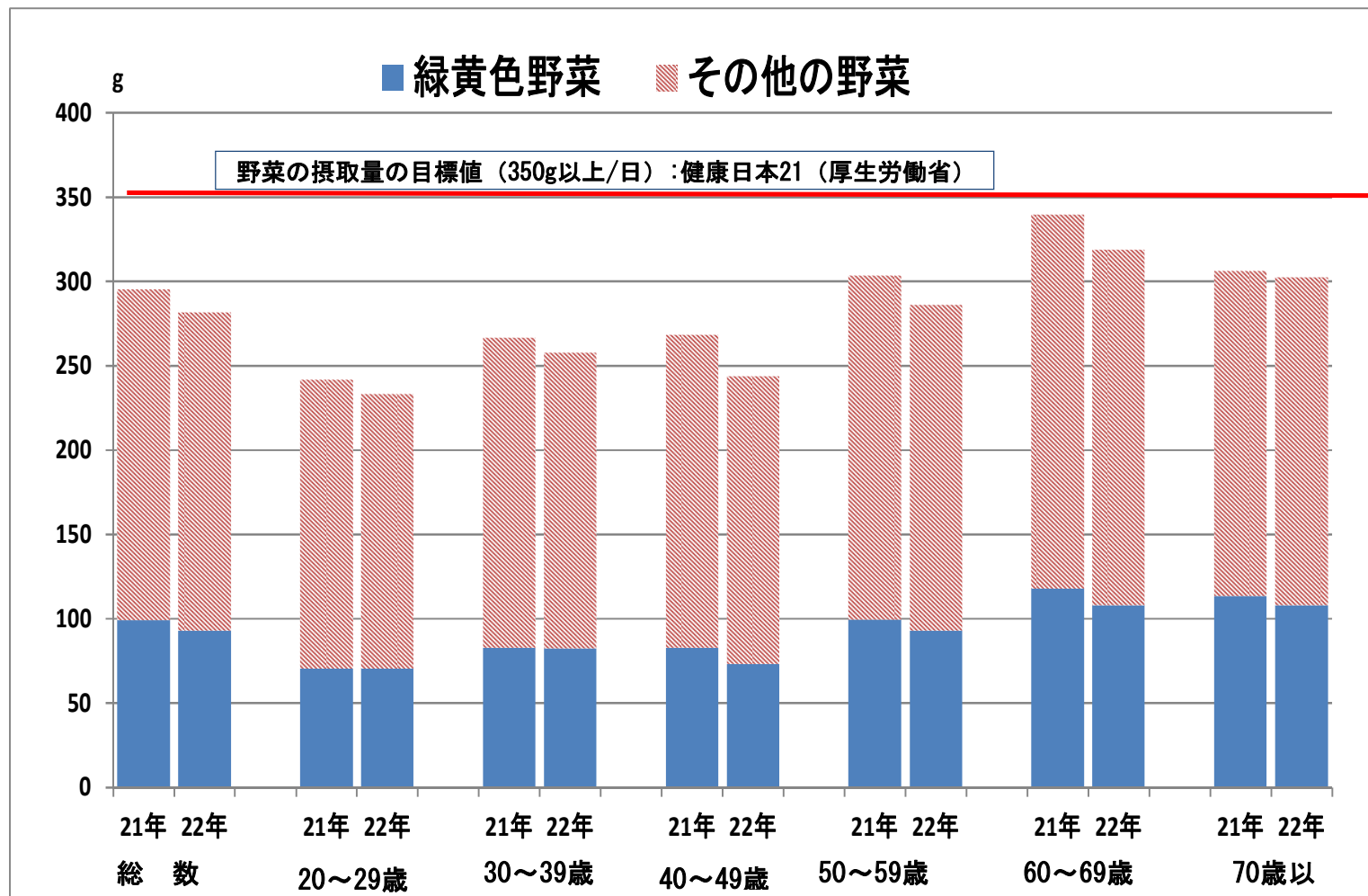
国民健康・栄養調査によると、平成22年の1人1日当たりの野菜の摂取量は、281.7グラムとなり、前年に比べて5%減少した。

年齢階級別で見ると、すべての階級で前年より減少し、かつ、野菜の摂取量の目標値を下回っている。中でも20代と40代は低い水準となっており、特に働き盛りの40代は前年より9%減少とかなり減少している。

一方、都道府県別の野菜摂取量を平成18年から22年までの平均で見ると、東北南部、関東甲信等の東日本で多く、北海道、近畿、四国、九州の一部地域で少なくなっている。野菜摂取量が多い地域では、漬物購入量や世帯人数が多い傾向がみられ、そうしたことも野菜摂取量に影響を与えていると推測される。

健康日本21では、1人1日当たりの野菜摂取量の目標値を350グラムと定めている。今後はその達成に向けて、特に若者や働きざかりをターゲットにした消費拡大が重要となっている。

年齢階級別野菜摂取量



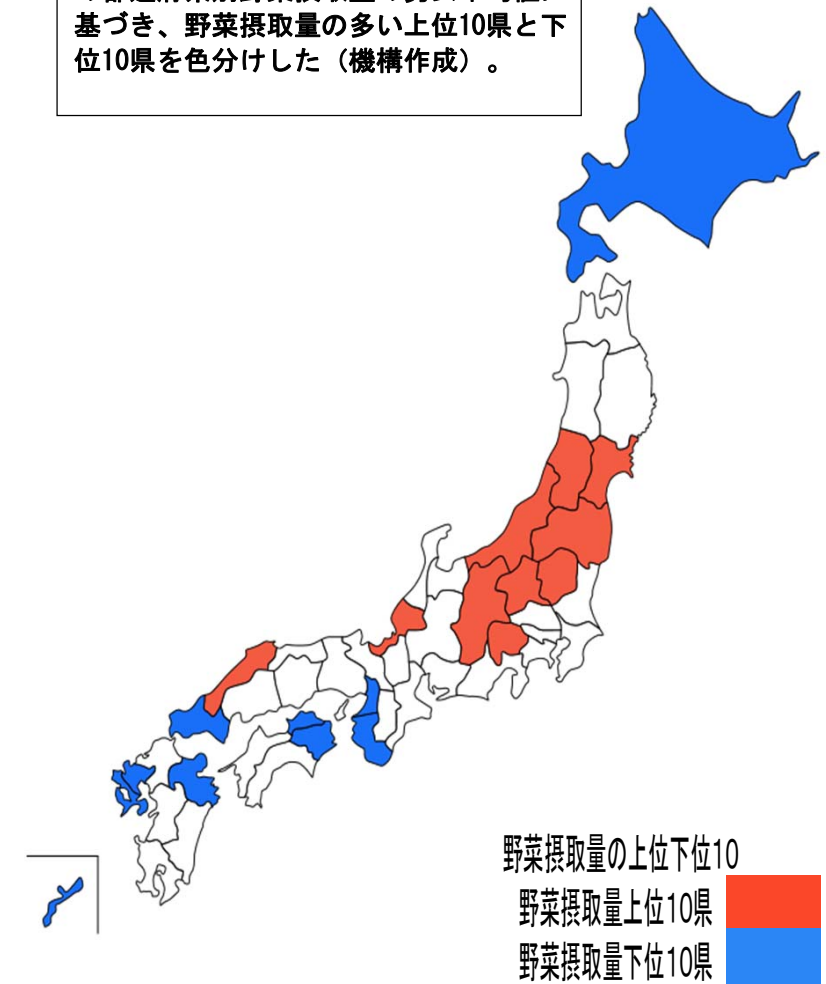
	総数	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70歳以上
平成21年	295.3	241.9	266.8	268.5	303.5	339.6	306.4
平成22年	281.7	233.2	257.8	243.7	286.1	318.8	302.4
対平成21年比	95	96	97	91	94	94	99

総数は、(20歳以上)の平均値

注) 野菜摂取量には、いも類は含まれていない。

都道府県別野菜摂取量

平成18~22年の国民健康・栄養調査結果の都道府県別野菜摂取量の男女平均値に基づき、野菜摂取量の多い上位10県と下位10県を色分けした(機構作成)。



資料：厚生労働省「平成22年国民健康・栄養調査結果」

●問い合わせ先 独立行政法人農畜産業振興機構 野菜需給部 需給業務課 村野、三部、須藤 TEL03-3583-9483、FAX03-3583-9484

◆「野菜の需給・価格動向レポート」は月2回公表しています。公表日にメールにてお知らせしますので、ご希望の方はページ探のお問い合わせから <https://www.alic.go.jp/form/vegetan.html>

★野菜ソムリエの旬ナビゲーション「ベジシャス」 http://www.alic.go.jp/y-suishin/yajukyu01_000076.html